

二級河川 朝明川

平成21年度

第3回

三重県河川整備計画

流域委員会

平成21年7月28日

三重県

資料の構成

- 流域の概要
- 河道の変遷
- 主要洪水の概要
- 現行計画と整備状況
- 河川の現況
- 河川環境の概要

■流域の概要

■朝明川流域の概要

- 関係市: 四日市市、川越町、朝日町、菰野町
- 主要交通網: (道路) 国道23号、国道1号、東名阪自動車道、伊勢湾岸道
(鉄道) JR関西本線、近鉄名古屋線、三岐鉄道

	河川延長 (法区間 km)	流域面積 (km ²)
朝明川	25.294	86.1
焼合川	0.660	
杉谷川	3.130	
田光川	4.875	
田口川	3.660	

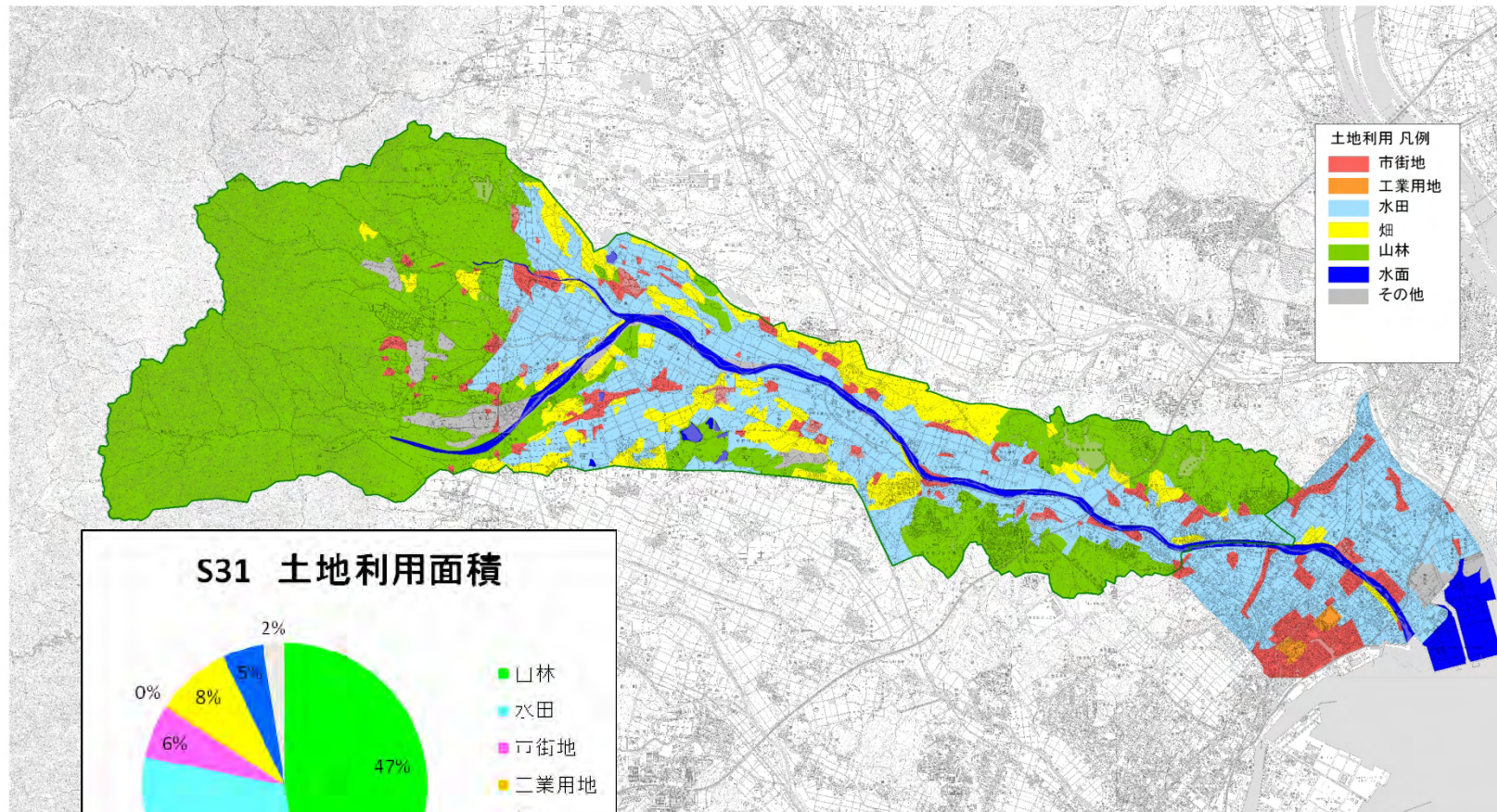


朝明川流域

■土地利用の変遷状況

【昭和31年】

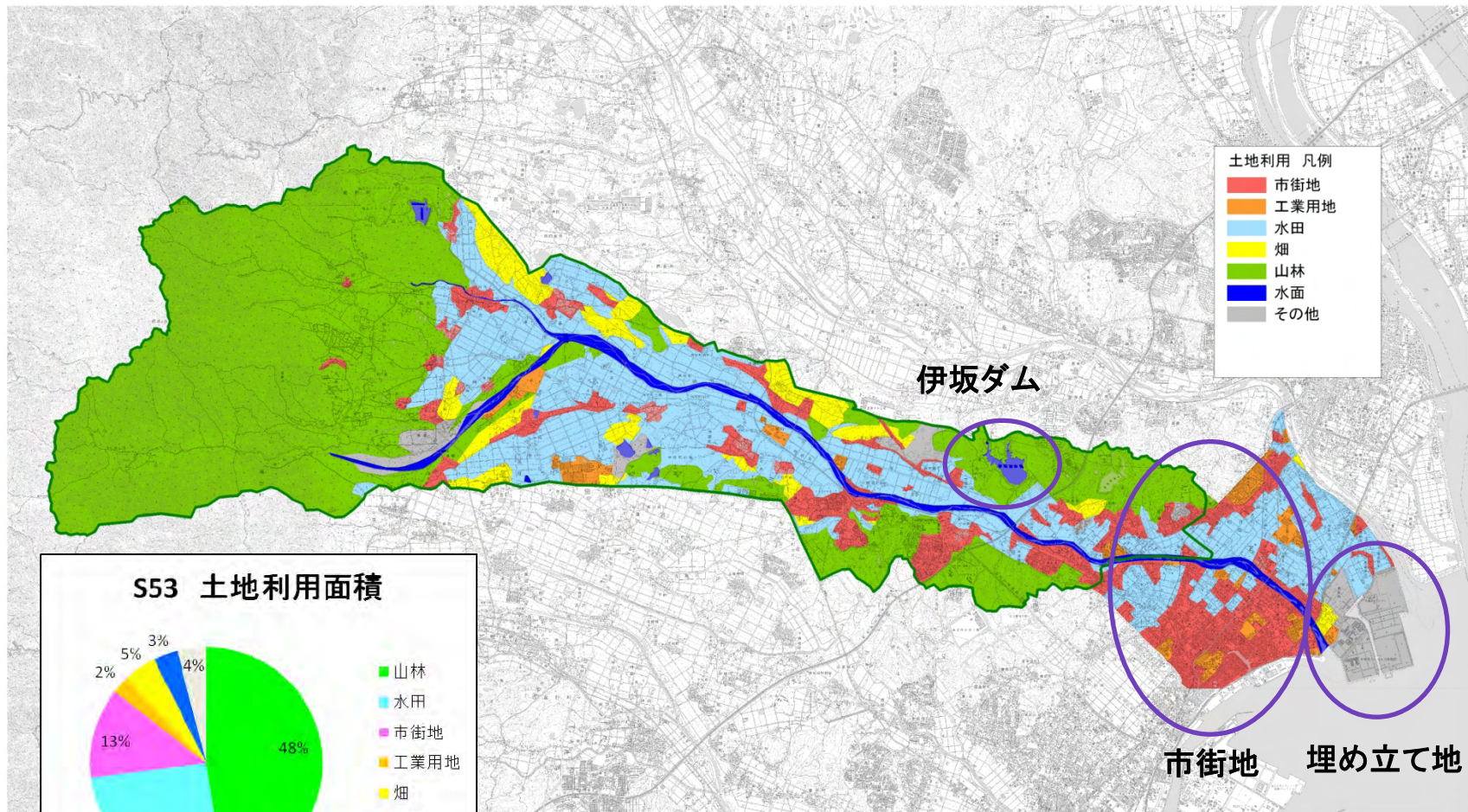
山林、水田が広がっています



■土地利用の変遷状況

【昭和53年】

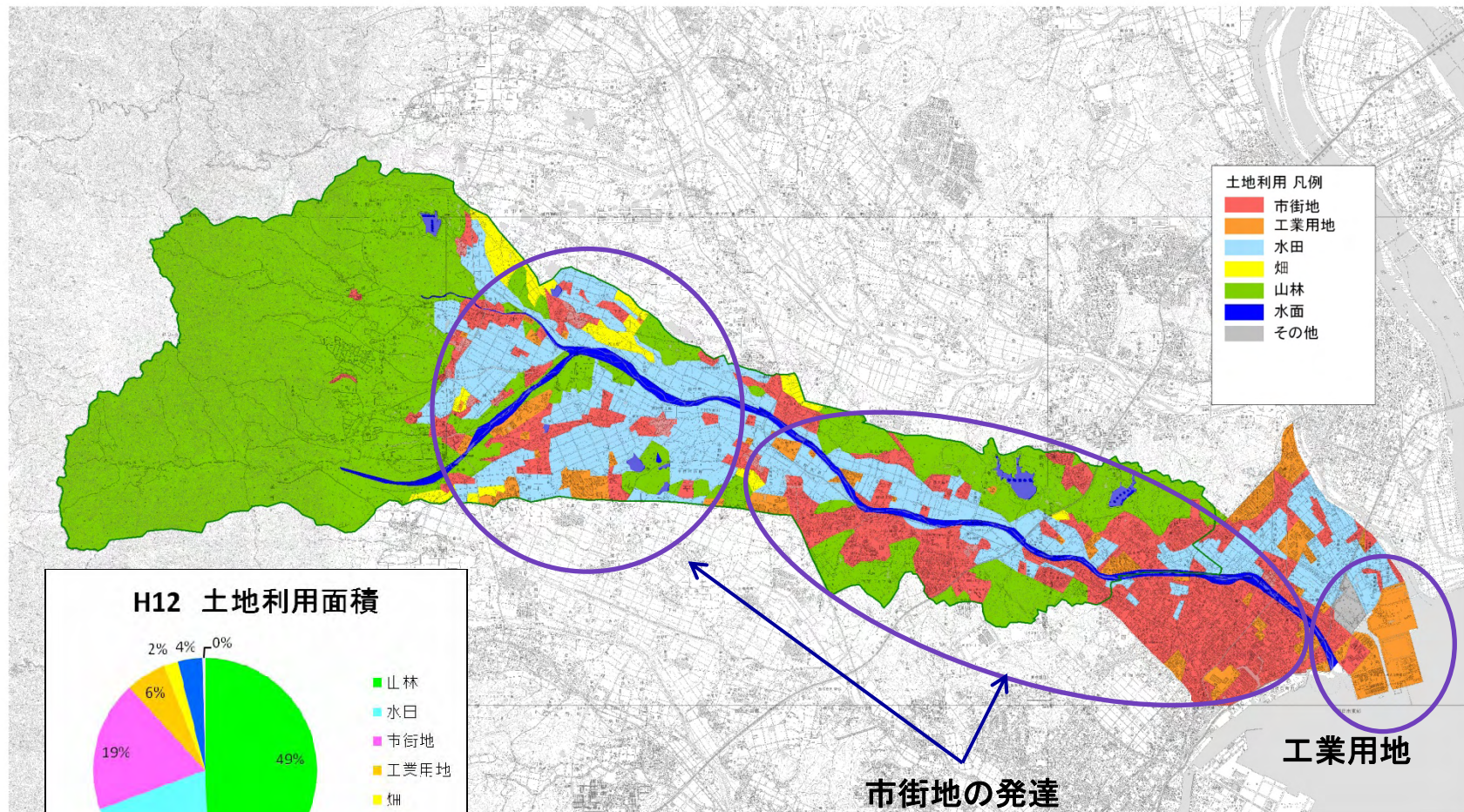
宅地面積の増大、埋立地、ダムができる



■土地利用の変遷状況

【平成12年】

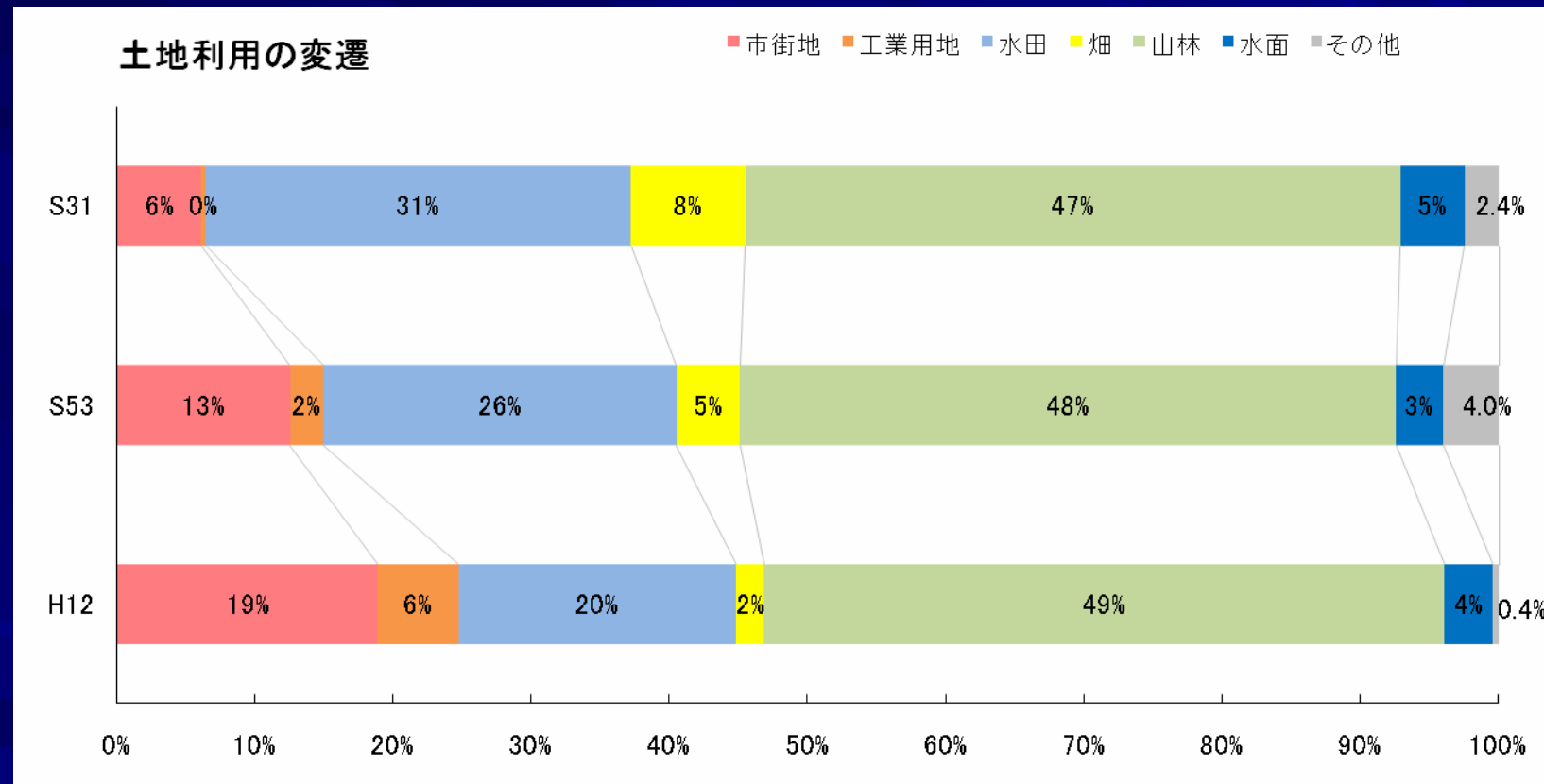
宅地面積の拡大、工業用地の拡大がみられる。



■土地利用の変遷状況

【増大】市街地、工業用地

【減少】水田、畑



■歴史・文化財



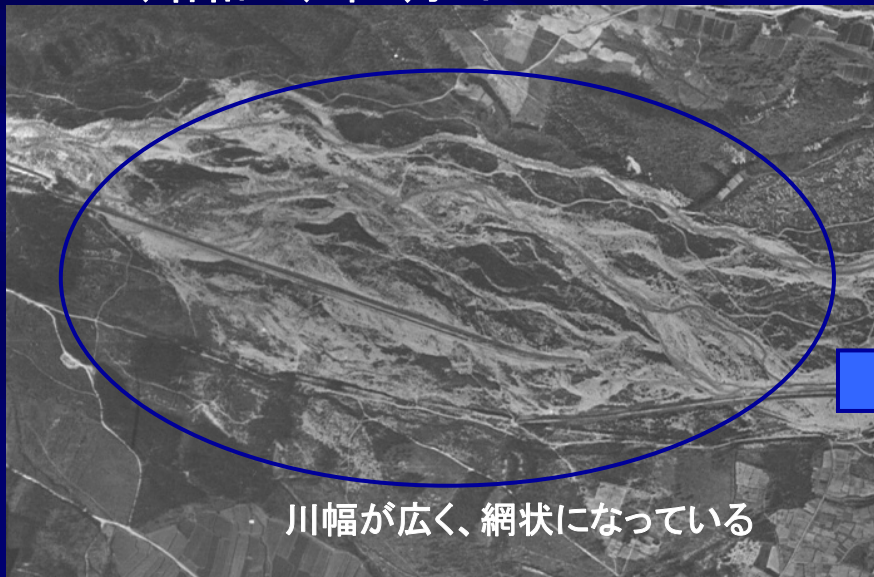
■河道变迁

■河道変遷<最上流域>

昭和23年→川幅広く、網状河道になっている。

昭和50年→砂防堰堤群がほぼ完成し、河道の安定化が図られた。

1948(昭和23)年4月6日



川幅が広く、網状になっている

1975(昭和50)年11月1日



砂防堰堤群が完成し、河道が安定

■河道変遷<中流域>

- ・取水堰が建設される。(昭和40～50年に建設)
- ・沿川の宅地化が進行。

1948(昭和23)年4月6日



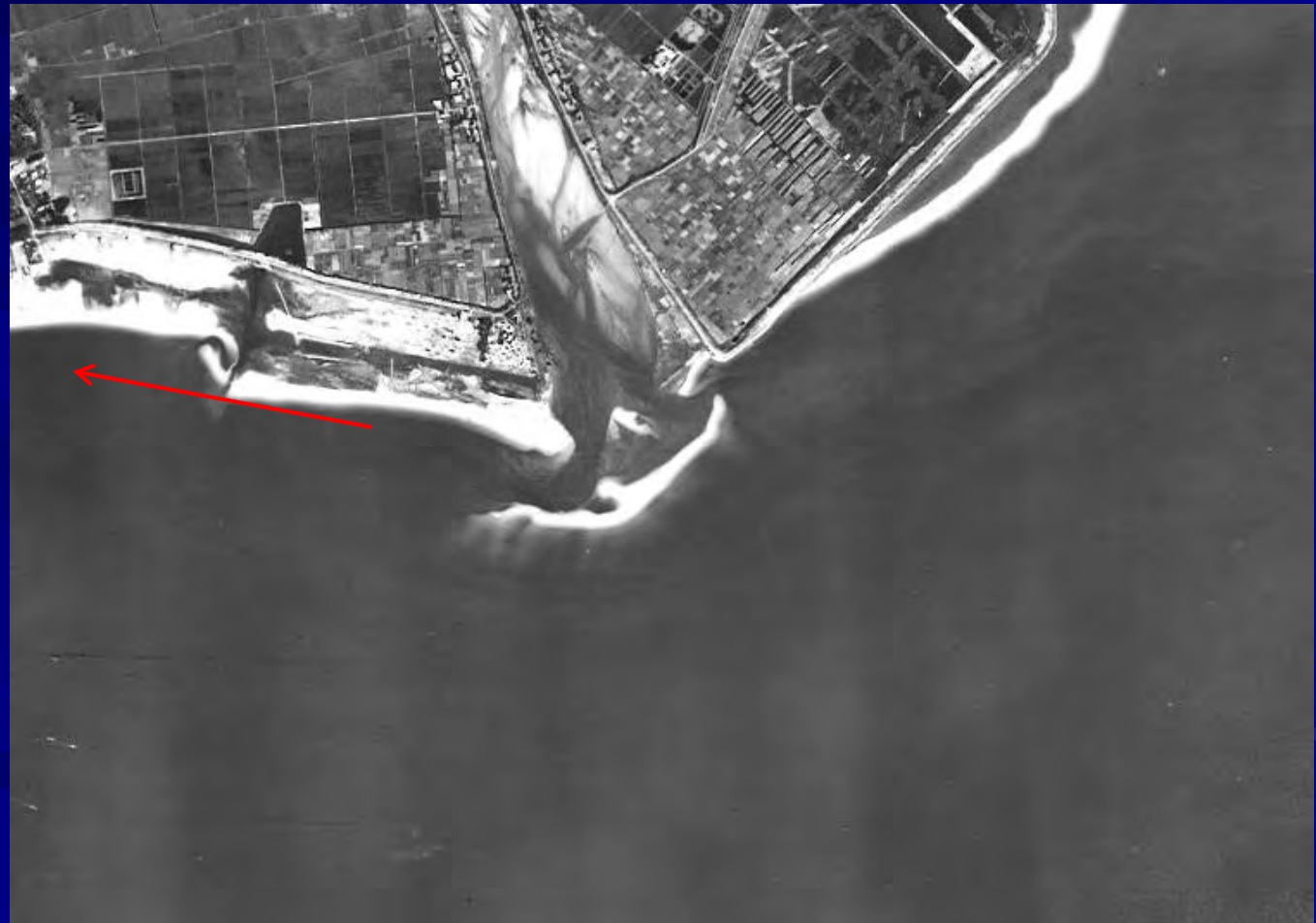
2006(平成18)年12月



■河道変遷〈河口域(昭和23年)〉

- ・高松干潟は現在より西側へ広く続いている。
- ・干潟の中央には沿岸方向に狭い水路が築かれている

1948(昭和23)年
8月24日



■河道変遷＜河口域（昭和41年）＞

- ・高松干潟の西側に導流堤が建設
- ・現在の天力須賀新町にあたる区域の干潟が消失
- ・干潟の岸沖方向はやや狭くなっている。

1966（昭和41）年
11月12日



■河道変遷<河口域(昭和50年)>

- ・火力発電所の埋立地完成
- ・高松干潟の岸沖方向の延長が半減

1975(昭和50)年
11月1日



■河道変遷〈河口域(昭和61年)〉

- ・火力発電所の完成
- ・高松干潟西側の埋め立て地ができる

1986(昭和61)年
5月23日



■河道変遷〈河口域(平成18年)〉

- ・昭和61年以降、高松干潟の面積に変化はない。
- ・高松干潟は中央部で狭く両側で広く湾曲

2006(平成18)年
12月 24日



■ 主要洪水の概要

■水害の歴史

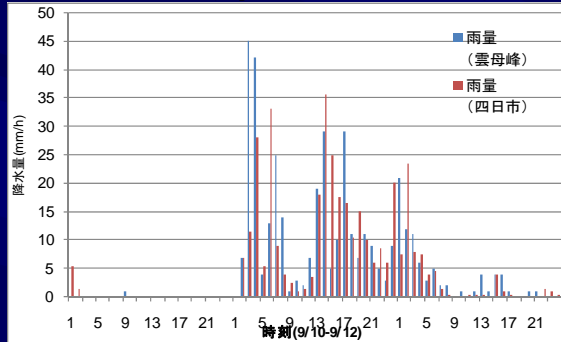
1938.8.3	(昭和13年)	集中豪雨	外水	堤防決壊9箇所、 流失家屋2戸、橋流失8箇所
1959.9.26	(昭和34年)	伊勢湾台風	外水	床上15,125戸、床下3,064戸
1961.6.26	(昭和36年)	集中豪雨	外水	床上 80戸、床下 550戸
1971.8.30	(昭和46年)	台風23号	外水	床上30戸、床下500戸
1974.7.25	(昭和49年)	集中豪雨	内水	床上6,380戸、床下10,713戸
1976.9.8～	(昭和51年)	長雨・台風17号	内水	床上 596戸、床下 3,334
1979.9.24	(昭和54年)	集中豪雨	内水	床上 227戸、床下 4,903
2000.9.11	(平成12年)	東海豪雨	内水	床上 178戸、床下 1,975
2008.9.2～	(平成20年)	集中豪雨	施設被害	護岸欠壊

●昭和46年、昭和49年、昭和51年、昭和54年に台風や集中豪雨により大きな浸水被害が発生しています。

●平成12年(東海豪雨)の豪雨災害の際には、浸水被害が発生していますが、内水氾濫による被害です。

■浸水被害

主要な洪水被害(伊勢湾台風、S49洪水、S51洪水、H12東海豪雨)では、朝明川下流部、東名阪道の上流部側での浸水被害が記録されている。



東海降雨時の時間雨量▲



▲四日市市萱生 (東海豪雨)



■ 現行計画と整備状況

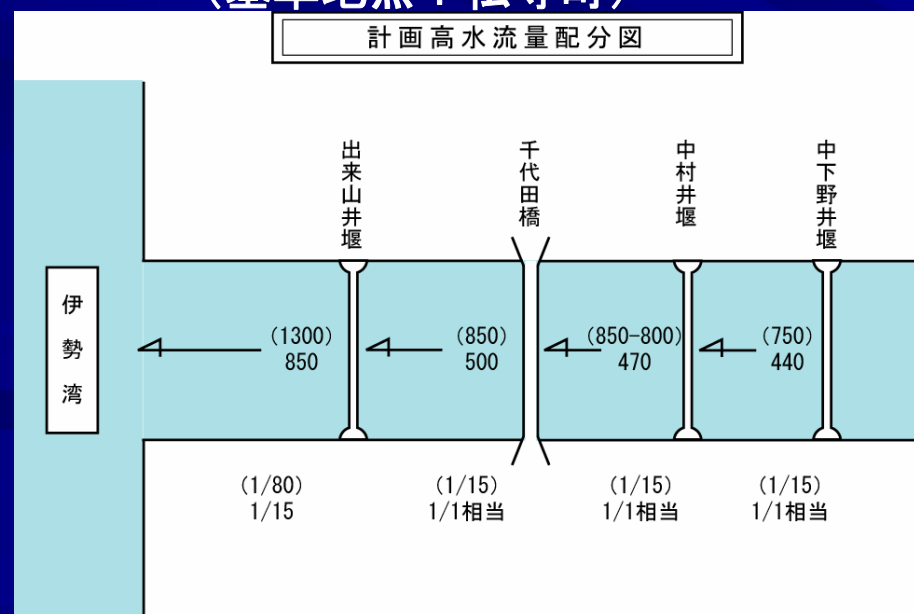
■現行計画(工事実施基本計画)

■平成9年11月に認可

➤計画規模

	暫定	将来
河口～出来山井堰	1/15	1/80
出来山井堰～県管理区間上流端	1/1	1/15

➤計画高水流量 将来 1300m³/s 暫定 850m³/s
(基準地点：松寺町)



■整備状況

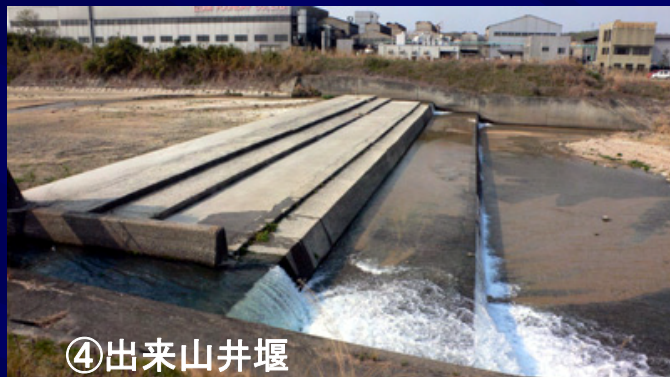
- ・ 広域基幹河川改修事業(S47～)は、河口から中下野井堰を改修（継続中）
- ・ 河口～中村井堰までは概ね護岸の整備は完了。（河道掘削は未着手）
- ・ 三重県河川整備戦略では、今後15年間に事業を実施する箇所として河口～JR橋までの区間の期間内完成を目標としている。



延長(km)	整備規模	整備方針
3.6	暫定	河口からJR橋までの区間の期間内完成を目指す

■河川の現況

■河川の概況(河口～中流部)



■河川の概況(中流部～山間部)

⑧千草水力発電所

⑥八風橋

⑤中村井堰

⑦奥郷橋

⑨朝明川砂防堰堤

写真: 国土交通省

朝明川

焼合川

杉谷川

田光川

田口川

■河川空間の利用状況、地域の活動(1)

■高松干潟

- ・春は潮干狩り
- ・夏は水遊び・マリンスポーツ・釣り
- ・秋～冬は渡り鳥のバードウォッチング



写真①



写真②

■河川の環境

■河川環境(植生)

【近鉄橋梁上流】

・右岸側の高水敷には竹林、
左岸側の高水敷には河畔林
が見られる。



【河口】

・干潮時には大きな干潟が
形成される。低丈草本群落
がみられる。



【出来山井堰下流】

・堰の下流側では高丈草本
(ツルヨシ等)が見られる。



■河川環境(魚類)

H20水辺の国勢調査結果

【新小角橋】

・オイカワ、カワヨシノボリ
等が数多く確認されている。
アユは確認されていない。



カワヨシノボリ

【広永橋付近】

・オイカワ、アユが数多く
確認されている。



オイカワ



アユ

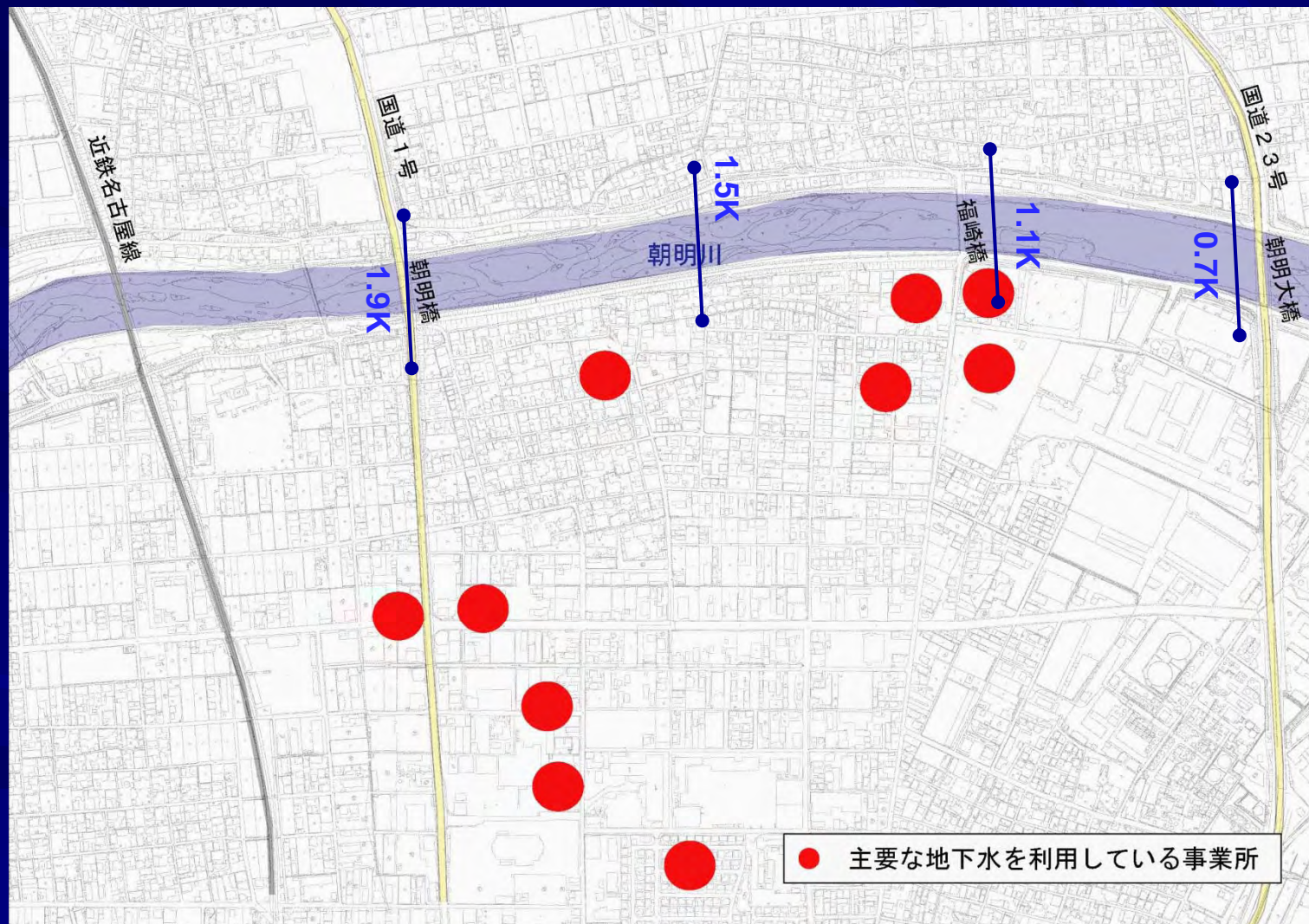
【確認された重要種】
スナヤツメ、ウナギ、アカザ、
メダカ、アユカケ

【確認された外来種】
カラドジョウ、カダヤシ、
ブルーギル、オオクチバス



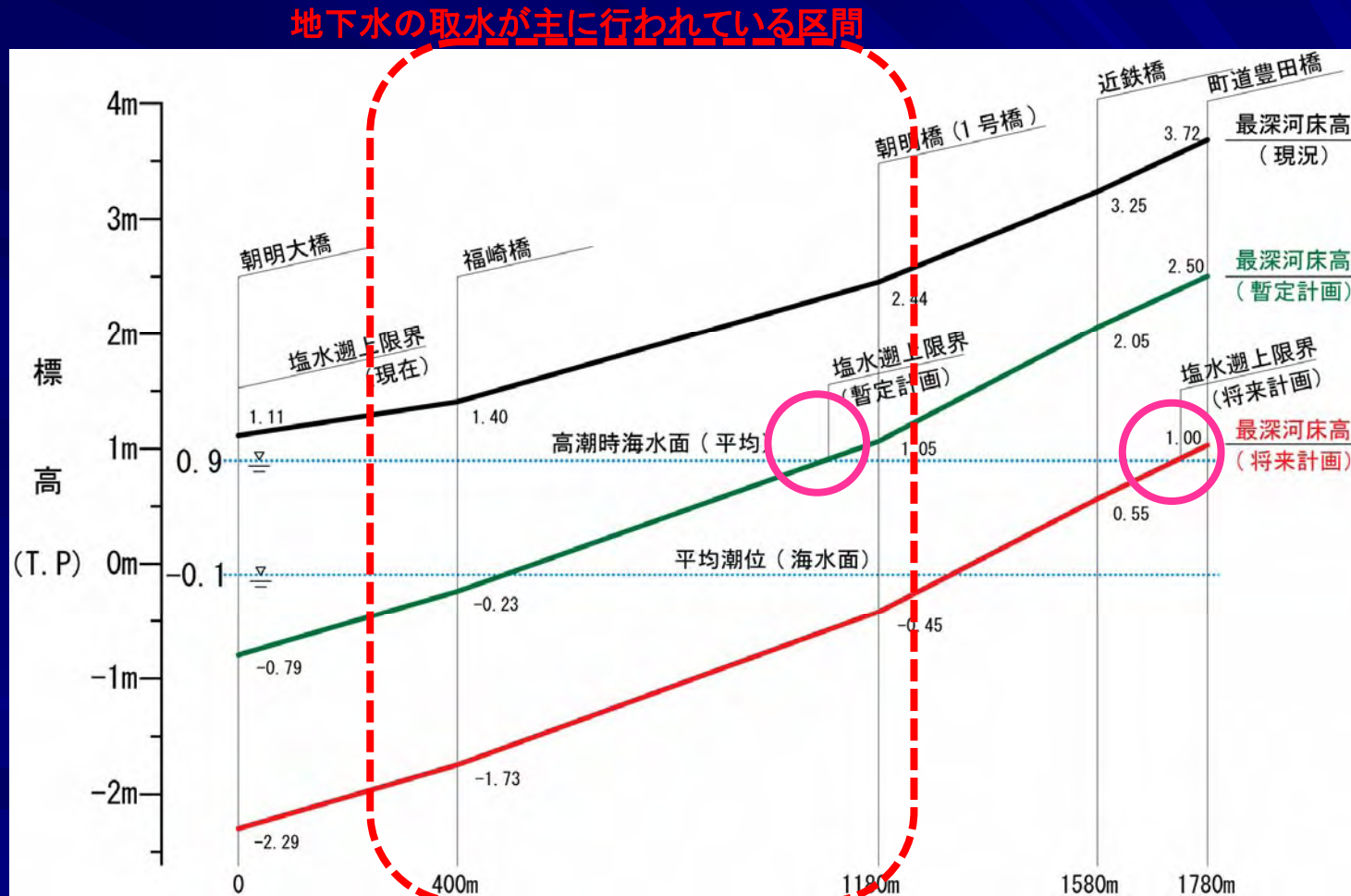
■河川掘削に伴う地下水への影響(1)

沿川では工業、商業での利用を目的とした地下水の利用が行われている。



■河川掘削に伴う地下水への影響(2)

河床掘削により、塩水遡上の範囲が上流側へ広がると考えられる。



出典:「二級河川朝明川都市河川(広域基幹)改修工事(地下水影響調査業務委託)」(H11.6)

■今後の予定

■今後の進め方

平成21年10月（予定）

第1回流域懇談会

- ・河川及び流域の概要
- ・治水・利水・環境の現状



平成22年1月（予定）

第2回流域懇談会

- 整備区間の設定
- 整備区間の治水・利水・環境の目標及び手法等の設定

平成21年11月（予定）

流域委員会

- ・整備区間の設定
- ・整備区間の治水・利水・環境の目標及び手法等の設定



平成22年3月（予定）

流域委員会

- ・河川整備計画原案の討議